

第5回 福岡医療短期大学 特色GP

口腔ケア実践教室



介護予防から自立支援への口腔ケア

日時：平成20年8月3日(日曜) 10:40~15:00

場所：福岡医療短期大学

講演・実技講習とも、参加費・実習費は無料です。

10:40~12:00

特別講演

座長：大倉義文（福岡医療短期大学 教授）

“口腔機能向上を目指した口腔ケアのポイント”

九州歯科大学 生体機能制御学 摂食機能リハビリテーション学 教授 柿木 保明

13:00~15:00 実技講習 【実技講習AとBは同時に開講します。】

A. 口腔ケアに役立つ移動と移乗の介護技術（定員40名）

福岡医療短期大学 保健福祉学科 講師 末松 美保子、ほか

B. 口腔ケアの基本を学ぶ（定員40名）

福岡医療短期大学 歯科衛生学科 准教授 堀部 晴美、ほか

参加申し込み * 終了いたしております。

裏面の申込用紙にご記入の上、FAXでお申込みください。

FAX番号：092 - 801 - 4473

締切 平成20年7月 22日(火)

※ 実技講習は定員 40名 になりしだい 締め切らせていただきます。
お早めにお申し込みください。

※ 『受講証』をお送りします。当日ご持参ください。

「口腔ケア実践教室」は、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)に選定された取組の一つです。本学はこの取組を通じて、要支援・要介護の方が、食べる機能に関する効果的な予防・ケア・リハビリが受けられる福祉社会を目指しています。



Fukuoka College of Health Sciences

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1

福岡医療短期大学 特色GP実践教室事務局 Tel: 092-801-0923

※ 当日は第10回福岡口腔ケア研究会(FOCAS)を同時開催中です。
こちらにも参加できます。

第5回 特色 GP 口腔ケア実践教室
口腔機能向上を目指した口腔ケアのポイント

九州歯科大学 生体機能制御学講座
摂食機能リハビリテーション学分野 教授 柿木 保明

高齢社会の到来で、入院加療や介護を必要とする高齢者が増加してきた。これらの高齢者では、口腔乾燥などで口腔内の自浄作用が低下して、汚れやすいことが知られており、口腔ケアの徹底が誤嚥性肺炎の予防にもつながることが理解されてきたことから、現在では、多くの施設で口腔機能の向上を目指した口腔ケアが行われるようになった。

口腔は、食べる、話す、笑うなど、基本的な生活行動における重要な役割を持っており、これらの機能を発揮するためには、正常な口の状態を保つことが必要である。したがって、これらの患者に対する口腔ケアは、単なる口腔の清掃や治療ではなく、口腔の環境と機能を改善して口腔や全身の機能を向上させることが重要で、唾液の分泌改善や粘膜の正常化などのほか、義歯の機能や咬み合わせ、摂食・嚥下機能など食べる機能や話す機能の支援も考慮する必要がある。これらの機能を維持・改善するためには唾液の存在が不可欠で、舌の動きや口腔全体、口腔周囲の機能も向上させることが大切となる。

高齢者における唾液分泌低下は、服用薬剤や生活習慣などで引き起こされる場合が多く、口腔内の唾液分泌状態や分布状態は、口腔ケアや摂食嚥下機能に大きく影響する。また、口腔状態は若年者と異なり、その環境や機能が生活や全身状態に密接に関連していることから、これらの特徴を捉えた口腔ケアと食べる機能を支援するリハビリテーションが大切となる。

食べる機能と話す機能で、重要な位置を占めるのが舌である。舌は、全身の症状を反映していることから、舌診など観察の指標として知られているが、それ以上に摂食・嚥下機能を発揮する上で重要な役割を有している。これら舌の機能改善には、口腔周囲筋群における筋緊張の正常化と下顎位の安定が重要となる。

今回は、口腔機能向上を図る上で大切な舌の機能や唾液を指標とした口腔ケアのポイントについて、お話します。「口の潤いは心の潤い」です。